

皆が笑顔になる、「フェアトレード」便り No.25 田中惣一商店 2024.12.1

「フェアトレード」とは、開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することで、生産者や労働者の生活改善と自立を目指す「取引のしくみ」の事です。

(一方的な寄付ではない持続可能な取り組みです)

***「エシカル消費」人・社会・環境に配慮した消費活動。「フェアトレード」商品を買うこともそのひとつ。大切な人に贈るギフトはサステナブルなものに。

11月23日(土)「sPARK DAY」にて、『フェアトレード×SDGs×介護』をテーマに開催。介護関係の温かな皆様とご一緒出来、九重小の子どもさんたちの歌と踊りをフィナーレに今までの思いが詰まった涙が落ちる程、素晴らしい日になりました。感動でした。皆様に感謝です。12月もsPARKさんで、「田中惣一商店」(nigimachiも参加)フェアトレード関連(素材を使ったお菓子やパン等)+日本のいいものをご紹介します。

**「和綿の種、ひろげようプロジェクト」・・・収穫した「綿」、田中惣一商店にて回収しています。お持ち下さい。和綿のハンカチやオーガニックコットンのTシャツが楽しみ!

***11月29日(金)午後2時~4時「明石祥子さんの世界フェアトレード国際会議南アフリカ報告会」15名参加。(市議6名市職員3名nigimachi3名その他3名)

・・・熊本市を2011年にアジア初、日本初のフェアトレードシティに導いた明石祥子さん。2016年の熊本地震、2018年には、住居兼店舗が全焼。波乱万丈のお話もお聞きしました。度重なる災害を乗り越え、2025年フェアトレードミュージアムを計画中。挑戦の夢は日本電Cがフェアトレードアイランドになること。「五つ葉、軌跡のストーリー」も発表。

・・・南アフリカまで24時間かかった事。治安の為、空港のすぐ傍にホテル。会場で、フェアトレードの生産者の方々がどんなものを作っているか?や、フェアトレードの作品の紹介もあったそうです。また、気候変動についてもカカオやコーヒーの生産者さんのお話があったそうです。フェアトレードを通じて、同じ課題を、国や人種が違って話し合いが続けられることが本当に素晴らしいと。・・・会場を変えて、5時間もかけて(安全面を考えて、一台の車でピストン輸送)フェアトレードタウンの交流会。旧知のイギリス、ドイツ、台湾、韓国、南アフリカのと熱い交流。フェアトレードタウンは世界で、約2200。地球の北側に多いとの事。また、イタリアは諸事情で撤退したり、それでもドイツはフェアトレードタウンが一番多い。日本では6都市。今、鎌倉市が申請し、市長さんの宣言(首長によるフェアトレード支持の意思表示)、議会も通ったので(議会によるフェアトレード支持の決議、公共施設や職員・市民へのフェアトレードの普及が図られている。)もうすぐ、フェアトレードタウンになるとのことでした。館山市、千葉市、同じ千葉県として、次に進みたいですね!! その後のお話会が皆様の熱気で中身の濃い、お話ができました。

***「たてやまビーチクリーンボランティアネットワーク」さんに「フェアトレード賞」を4つ、ご用意しています。12月8日の授賞式をお楽しみにして下さいね!!

「1人の100歩でなく、100人の1歩!」輪が広がりますように。